

助成申請書記入例

平成29年度チャレンジ・アシスト・プログラム 助成申請書

①グループ名		○×ボランティアの会						
②所在地		(〒190-1234) 東京都立川市暁町1-1-1 e-mail: 1682higashi@tokyo.co.jp TEL 042 (123) 4567						
③代表者	氏名	東京子	年齢	22歳	職業	○○大学△△学部 ××学科 □年		
	住所	(〒190-1234) 東京都立川市暁町1-1-1 e-mail: 1682higashi@tokyo.co.jp TEL 042 (123) 4567						
④連絡先 (代表者と異なる場合)	氏名	夢島文子	日中連絡先			TEL 080 (1234) 5678		
	住所	(〒190-2234) 東京都八王子市日ノ出町2-2-3 e-mail: 1234yumefumi@tokyo.co.jp						
グループ・団体の概要	⑤結成(設立)	2015年10月	⑥会員数	30名				
	⑦グループの主な活動内容	1 大学近隣の子供たちを対象とした「読み聞かせ」「遊ぼう会」の開催(年12回) 2 会報の発行: 活動報告と体験談を載せたミニコミ紙を年4回発行。児童館や学校に配布 3 スタッフミーティング: 月1回例会を開き、各取り組みの報告や課題について議論し、その議論に基づいて「読み聞かせ」や「遊ぼう会」のプログラムの検討 4 近隣の類似グループとの交流(年2回)						
	⑧今年度(2017年)の予算状況	収入	会費 年2000円×30名 = 60,000円 当事業の助成金 200,000円 助成金・補助金 70,000円 収益金(バサー等) 50,000円 その他()			支出	※ 内容を簡単に記入 印刷費 100,000円 通信費 50,000円 講師謝礼 50,000円 会議費 40,000円 消耗品 100,000円 繰越金 40,000円 合計 380,000円	
	合計		380,000円			合計 380,000円		
	⑨これまでに受けた、または定期的に受けている助成等	助成団体名	助成年月	助成金額	助成内容			
	橋記念財団	平成28年5月	50,000	「遊ぼう会」の活動費助成				
	立川市社会福祉協議会	平成27年4月	20,000	ミニコミ紙作成助成				

①正式な名称を記入して下さい。法人格がある場合は「社団」「社福」「NPO」などを明記してください。

③学生の方は、職業欄に学校名・学部・学科名、学年を記入してください。

④日中に連絡できる番号を明記ください。

⑦機関紙、パンフレット等活動内容が分かるものがあれば添付資料として提出してください。

⑧予算書又は、前年度の決算書があれば添付してください。

申請する案件について	⑩事業名	親子で体験！「夏休みワンダーランド」							
	⑪申請理由	<p>私たちのサークルでは、大学の近くに居住する多摩地区の子どもたちを対象に、放課後・週末に絵本の「読み聞かせ」や「遊ぼう会」などを開催しています。将来、資金の手立えがいつかあるときの夢として、広く都内の子どもたちとその保護者を対象に、大規模な子どもの遊び場を提供するための企画を暖めてきました。</p> <p>今回、若者のグループのチャレンジする気持ちを支援する事業があると聞き、都内で広く子どもたちのために活動している他大学の学生グループにも呼びかけ、日替わりテーマ別遊び体験メニューを開発し、提供することで、自分たちの夢の実現に一步踏み出したいので、以下の計画を申請します。</p>							
	⑫事業(活動)実施の予定日	開始／	2017年	8月	20日	終了／	2017年	8月	25日
	⑬内容および計画	<p>1 目的：現在、都内で子どもたちのために活動しているサークルに呼びかけ、親子の様々な体験機会を企画・提供することで企画者自身の実践力・社会貢献力を鍛え、参加者である子どもや親の人とかかわる力、触れ合う喜びを知る契機とする。</p> <p>2 日程：2017年8月20日～8月25日</p> <p>3 会場：都立夢の島公園及び東京スポーツ文化館</p> <p>4 内容：①子ども向け事業実施サークルに呼びかけ、プロジェクトチームを立ち上げる。 ②企画会議の実施（5月～7月） ③PR活動（6月～7月） ④会場づくり（8月） ⑤事業の実施（8月）</p> <p>a) 親子創造の広場 ダンボール等の身近なものを使った遊具作りと遊び（日替わりメニュー）</p> <p>b) ネイチャーアンドアドベンチャー広場 子供と保護者のアイデアを企画者がサポートし、お楽しみプログラムを企画・実施する。</p> <p>c) 昔遊び選手権 保護者が子供の頃に遊んだ遊びを紹介し、子供や他の保護者に指導し、体験する。</p> <p>d) 実施状況の報告書の作成・近隣教育委員会への送付。</p> <p>e) HPへ掲載</p> <p>5 募集・定員：①学生スタッフ 30人 ②親子参加者 200人（小学1～3年生とその親 100組）</p>							
	⑭必要な費用の内訳	項目	単価	数量	金額	うち自主財額	助成申請額		
	当日資料	50	250	12,500		12,500			
	チラシ印刷費	10	8,000	80,000		80,000			
	通信費	82	300	24,600		24,600			
	消耗品費			100,000	67,000	33,000			
	講師報償	10,000	5	50,000		50,000			
	合計		(円)	282,800	4,800	200,100			
	助成申請額	(千円未満を切り捨て)					200,000円		
⑮この助成の情報入手先	<p>1. 学校（学校名〇〇大学 学生課掲示板）</p> <p>2. ボランティア・センター（ ）</p> <p>3. インターネット（ ）</p> <p>4. その他（ ）</p> <p>（いずれか番号を〇で囲み、具体的に記入して下さい）</p>								

⑪申請する事業で期待される効果、財源確保への努力状況等を記入してください。

⑫事業は2018年2月28日まで終了してください。

⑬研修会・講座など開催の場合には、目的、対象、日程、会場、講師、予定人数などを記入し、プログラム等を添付してください。

⑭報告書等の冊子類を作成する場合には、簡単な企画概要や目次など内容の分かるものを添付してください。

⑮この欄も必ず〇をつけて下さい。次回の参考にしたかったので、具体的な入手場所を入れてください。

★「必要な費用の内訳」の欄には、今回申請する案件にかかる経費のみ記入してください。

★グループ・団体の広報紙、パンフレット、予算書又は決算書を作成している場合は添付してください。